

MEIRIKAI CHUO

リハビリテーション科の紹介

GENERAL HOSPITAL



私たち明理会中央総合病院はI M Sグループ（板橋中央総合病院グループ）に属し、昭和51年の開設時より33年、東京都板橋区において「大和病院」として、地域医療に携わってきました。平成21年11月に東京都北区東十条へ移転し、これまでの「大和病院」から『明理会中央総合病院』へ病院名を変更。地域中核を担う、急性期総合病院として活動しております。また、平成31年1月に回復期リハビリテーション病棟がオープンしたことで、現在は急性期医療から回復期、在宅まで一貫した医療の提供が可能となりました。その他にもH C U・S C Uのユニットや障害者病棟も有し、様々な機能を兼ね備えています。急性期、回復期での患者様との関わりの中で様々な疾患のリハビリテーションに携わることで、幅広く経験し、学び、考えることができる環境です。科内でも教育にも力を入れており、グループ内での学びの場も豊富です。患者様本位のリハビリテーションを実現するために、院内外を問わず積極的に学び、様々な職種とコミュニケーションをとることを推奨しています。

あなたも療法士として経験・成長しながら、一緒に地域社会への貢献を目指しませんか？



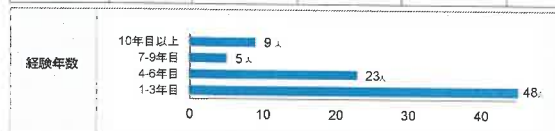
施設基準

運動器リハビリテーション科（I）
脳血管リハビリテーション科（I）
呼吸器リハビリテーション科（I）
心大血管リハビリテーション科（I）
がん患者リハビリテーション科
廃用症候群リハビリテーション科（I）
回復期リハビリテーション病棟入院科1



在籍数（令和2年4月現在）

令和2年 5月現在	リハ 専門医	PT	OT	ST	リハ 助手
スタッフ数	1人 (非常勤)	55人 (うち非常勤1人)	19人	11人 (うち非常勤3人)	1人
男女比 (男/女)		33/22	4/15	1/10	



その他資格保持者

呼吸療法認定士 4名
心臓リハビリテーション指導士 2名
介護支援専門員 1名
N S T 専門療法士 1名
がんリハ 研修修了者 13名



出身校一覧

【関東】首都大学東京、杏林大学、横浜リハビリテーション専門学校、国際医療福祉大学（大田原）、彰栄リハビリテーション専門学校、東京工科大学、早稲田医療技術専門学校（現 人間総合大学）、昭和大学、千葉・柏リハビリテーション学院、帝京科学大学、帝京平成大学（池袋、千葉）、東京医療専門学校、東都リハビリテーション学院、日本医療科学大学、文京学院大学、北里大学、自由大学、英メディカルアカデミー、ア徳寺大学、多摩リハビリテーション学院【東北】東北文化学園大学【中部・近畿】新潟リハビリテーション大学、常盤大学、聖隷クリストファー大学、日本福祉大学【九州・沖縄】専門学校校生館、沖縄リハビリテーション福祉学院、九州保健福祉大学、九州栄養福祉大学、琉球リハビリテーション学院、福岡医療技術専門学校、藤生リハビリテーション大学校、国際医療福祉大学（福岡）



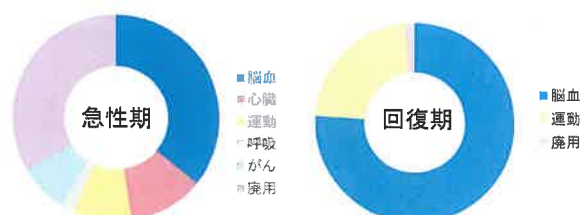
ご挨拶
技士長 理学療法士

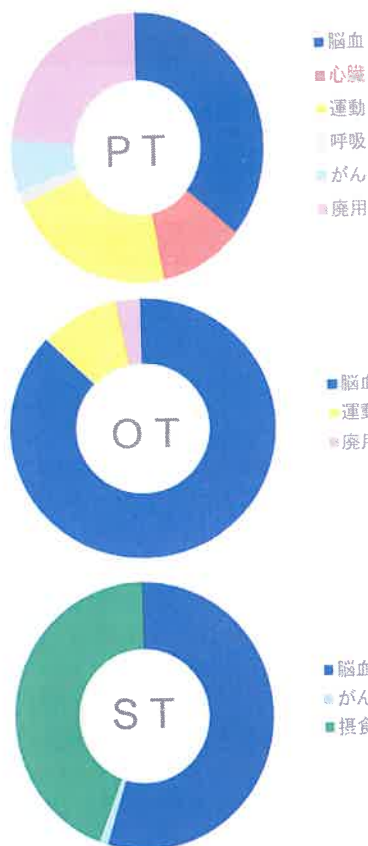
こんにちは。明理会中央総合病院の資料を手にとりいただきありがとうございます。
当院のリハ科は「命・生活・人生に寄り添う」を理念とし、急性期と回復期、訪問リハに関わっています。急性期リハでは超急性期から関わり、急性期から直接在宅に戻られる方も多くいらっしゃいます。回復期は立ち上げから1年が経ちました。私たちはより「生活」を考える必要が高まり、まだまだ発展途上ですが、手厚いリハを提供できるよう3職種とも奮闘しております。

この職場はいろんなことに挑戦するチャンスがあります。重複障害の方も増えてきているこの社会で、自信を持って様々な分野に関われるということはセラピストとして強みになると考えています。スタッフには積極的に様々なことに関わってほしいと思いますし、いずれその中で、深めたいことを見つけ、チームやリハ科全体がそれを支え、さらにその先で個人がチームや科の力になっていく、そんなリハ科でありたいと思います。よかったら一度、リハ室を見に来てください！

職種別・診療科別介入内訳

ます。近年の心疾患・がん疾患の増加により、当該診療科からの依頼が増えていることも特徴です。このような方へ発症直後から積極的に関わることで、廃用症候群の発生を防ぎ、他職種と連携して、治療の充実と“安心・安全な地域への復帰”を目指していきます。





PT

理学療法部門は時期と診療科に分かれた4チームを編成し、専門的なリハビリテーション提供を実践しています。『安全な離床⇒早期の手厚い介入⇒安全な自宅退院』を目標に、救急病院・地域病院として超急性期から、在宅支援、介護予防などに携わっています。

整形・脳血・内科チーム

心臓・腎臓チーム

血内・外科チーム

回復期チーム



PT 6年目、
理想の理学療法士を目指して

私が、理学療法士を目指した理由は人や身体について深く学びたいと思ったからです。当院で働き始めてからは、身体機能を含む患者様の今後の生活に深く関わることの大切さを感じています。患者様が未来を前向きに思い描くための手助けができる理学療法士になりたいです。

OT

脳卒中を中心に、心疾患・がん疾患・リハビリの介入をしています。患者さま一人一人の思いに寄り添いながら、自宅や住み慣れた地域、職場や学校などそれぞれの場所で、主体的な生活を送ることができるよう支援をしています。

OTの取り組み

超急性期から作業療法士が介入することで、二次的障害の予防や回復への円滑な導入を目指します。また、回復期では長期的な関わりの中で、より具体的に退院後の生活を見据えた介入を行っています。

対象となる範囲が広く、臨機応変で柔軟な対応が求められますが、広い視野と知識を身につけることができるよう、個人・チームでの成長を目指しています。



新人教育

マンツーマン制で1年間指導者が付き、実践的指導を行います。日々の疑問や、カルテの書き方、ちょっとした不安やコツなど…些細なことでも聞きやすく、すぐに解決できる環境と雰囲気魅力です。

各疾患の概要や評価法、促進手技やスプリント作成、リスク管理など。新人向けの勉強会も多数開催しているので、経験がなくても不安なく業務に取り組みます。



OT 9年目、
幅広い分野を経験して

私は以前、グループ内の脳神経外科病棟に勤務していました。広く知識を深めたいと考え、当院への異動を希望しました。NST、RSTなどの活動が盛んであり、OTが心臓リハやがんリハに関わっていることも当院の魅力です。私は 将来、老年期リハビリテーション領域に携わりたいと考えています。そのため、多くの視点を持って患者様に対応していけるよう日々努力していきたいです。



ST

ST部門では、失語をはじめとした高次脳機能障害、構音障害、摂食嚥下障害を中心に介入をしています。対象疾患は多岐にわたり、急性期から回復期まで長期的な関わりを持つことができます。

STの特徴

社会人経験を経てST資格を取得しているスタッフが多く、平均年齢は30歳(経験年数平均7年)。年齢や上下関係にとらわれず、活発な意見交換ができる環境作りを目指しています。



STの取り組み

嚥下内視鏡検査やNSTなどにも積極的に取り組み、患者様やご家族様がよりよい生活を送れるよう、コミュニケーションや栄養摂取方法の確立を目指しております。



新人教育

チームで教育に関わります。他職種に比べ少人数での活動なので、新人さんの習熟度にあわせて、より細やかな指導が可能です。また、グループ内ベテランSTが定期的に来院し、チームや新人さんの成長を支援してくれます。



ST 4年目、
患者様の笑顔にふれ、やりがいを感じる毎日



私は以前、医療機器メーカーに勤めていました。働くうちに、直接患者様の力になれる仕事がしたいと思い、STを目指しました。まったく違う職種で戸惑うことも多くありましたが、先輩が丁寧に指導してくれるので、とても心強く感じることができました。リスク管理など、難しさを実感する毎日ですが、それ以上に患者様の笑顔にふれ、やりがいを強く感じています。患者様に信頼されるセラピストになれるよう、日々頑張ります！

回復期リハビリテーション

平成31年1月より回復期リハビリテーション病棟を開設。

それに伴い、急性期から回復期、生活期(訪問リハ)まで一貫した完結型医療の提供が当院で可能となりました。新しくリハビリテーション室も整備され、治療機器や器具などの導入しております。急性期病棟で治療を受けた後、回復期病棟にて集中的なリハビリテーションを実施することにより、心身の回復をサポートしていきます。



訪問リハビリテーション

イムス訪問看護ステーション東京 東十条支店と連携し訪問リハビリテーションを行っています。必要に応じて、患者様が地域へ戻られた後も継続的に関わる事が可能です。



専門性を活かした活動

● Nutrition Support Team (栄養サポートチーム)

● Respiratory Support Team (人工呼吸器サポートチーム)

● 褥瘡対策チーム

● 公開医療講座



NEWS & TOPICS

● 嚥下内視鏡検査へのST同行

● 腎臓リハビリテーション実施中

● ウィメンズヘルスリハ開始

● OT・STは入寮OK (条件あり)



教育体制

チーム × 病院 × IMS

チームで！

チーム全員での指導を前提とし、新人の方の指導にプリセプターシップを採用。
個人の習熟度にあわせて指導を行い、各分野のスペシャリスト育成を目指しています。

- リハ科内勉強会の一例
各分野、チーム主催の勉強会（心リハ、がんリハ、整形疾患などの各種疾患について）
事例検討会、術創、リハ米煮 など
トランスファーや松葉杖指導など、新入職員向けの内容も多数！

病院で！

他職種と合同の勉強会も多数開催！
リハビリテーション科主催の勉強会も設け、
当科からの院内・地域の方に向けての情報発信も積極的に行っています。

- 院内勉強会のテーマ例
医療安全、感染対策、NST、RST、BLS など
- リハビリテーション科 主催の勉強会一例
移乗、ポジショニング、嚥下、リハビリ米煮、体位ドレナージ、公開医療講座 など

IMSグループで！

IMSグループの一員として各種研修会や講習会に参加することができます。新人から管理者までそれぞれの将来像にあわせ成長できるシステムが充実しています。

- 新人育成
新人合同研修、管理者育成研修、新人フォローアップ研修、新人事例検討会
- 職種別技術研修会
PT：テーピング・コンディショニング、心リハ、リスク管理、基本動作・歩行 など
OT：自動車運動技能評価、高次脳機能障害、認知症、MTDLP臨床実践 など
ST：言語症状情報処理を考える・認知モデルを作成してみよう など
- 学術部門
IMSリハビリテーション学会、IMS学会、CMS学会
- 管理者育成
人事考課について、目標の立て方 など

～ IMSグループから実現できる キャリアアップ・デザイン ～
「ゆくゆくは当院以外の領域で活躍したい！」という方へ
当院に入職した後、グループの病院での業務研修など応援します！

♡ 詳しくは「IMS リハ部門」で検索！



運動会やサークル活動も充実



IMS運動会、野球、フットサル、バレーボール、バスケットボール、ボーリング、カラオケ、フォトコンテストetc...楽しい行事もたくさん！メンバーが集まればIMS杯(大会)への参加も可能です。
自由参加なので、自分のペースに合わせて仲間作りやリフレッシュできます。

見学のご案内

見学をご希望される方は、

03-5902-1050 へご連絡ください。



当日の流れ（所要時間 3 時間程度）

- はじめに
 - ・総務人事部にて見学シートを記入していただきます。
 - ・その後、持参のクーシーに着替えていただきます
- 見学
 - ・各部門の責任者からリハビリ概要を説明します。
 - ・希望に応じて 1～2 例程度、見学をしていただきます。
 - （その際に、希望の疾患などあれば見学するチームを調整致します）
- 「実際、働きやすいのか？」「なぜ当院に入職したのか？」など...
現場スタッフへの質問も自由にして頂けます。
- 質疑応答
 - ・最後に着替えと質疑応答で終了です。
 - ・些細な事でもちろんOKです、気軽に質問して下さい。

♡ まずは見学から、お気軽にお問い合わせください！！



詳細はホームページをご確認ください！
Instagramも更新中
チェックしてみてくださいね♡